

第62回宮城県緩和ケア研修会プログラム

研修会企画責任者：児山 香
会場：東北医科薬科大学病院 別棟 大会議室

敬称略・順不同

1日目 平成28年9月10日(土)

区分	分野	内容	備考	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師・ファシリテーター	時間帯
		院長のあいさつ				近藤 丘	8:45-8:50
		オリエンテーション				児山 香	8:50-9:00
A	概論	患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて	がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む ※次に掲げる項目から選択し、研修内容に取り入れること ○社会的苦痛の緩和 (就業や経済負担等) ○家族のケア ○がん体験者やケア提供者等からの講演	0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	中保利通 (宮城県立がんセンター)	9:00-9:45
	つらさの包括的 評価と症状緩和	苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について		0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	中保利通 (宮城県立がんセンター)	9:55-10:40
	疼痛緩和 (1)	がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について	多様化する医療用麻薬の使用上の注意点も含む 神経ブロックについて (15分) 放射線治療・IVR (30分)	1単位 (90分)	0.5単位 (45分)	日下 潔 (祐ホームクリニック)	10:50-11:35
			0.5単位 (45分)		日下 潔 (祐ホームクリニック)	11:35-11:50	
					0.5単位 (45分)	小山周樹 (東北医科薬科大学病院)	11:50-12:20
昼食・休憩							
B	疼痛緩和 (2)	がん疼痛についてのワークショップ	ア) グループ演習による症例検討1 (がん疼痛に対する治療と具体的な処方) イ) ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習	2単位 (180分)	2単位 (180分)	高橋通規 (仙台医療センター)、小笠原鉄郎 (東北労災病院)、中保利通、日下潔、綱木美由紀、住谷三枝、児山香	13:20-16:20
		1日目のまとめ・連絡			1日目 計4単位	児山 香	16:20-16:25

2日目 平成28年9月11日(日)

区分	分野	内容	備考	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師・ ファシリテーター	時間帯
C	疼痛以外の身体 症状に対する緩和 ケア	呼吸困難、倦怠感等に対する緩和ケアについて	治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む	0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	進藤百合子 (仙台オープン病院)	9:00-10:30
		消化器症状、食欲不振等に対する緩和ケアについて	治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む		0.5単位 (45分)	今野文博 (大崎市民病院)	
	精神症状に対する 緩和ケア	不安、抑うつおよびせん妄等に対する緩和ケアについて	不眠のケアも含む	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	山下元康 (光が丘スペルマン病院)	10:40-12:10
昼食・休憩							
D	地域連携・在宅 ケア	がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケア		0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	佐藤隆裕 (岡部病院)	13:10-13:55
	コミュニケー ション技術	がん医療におけるコミュニケーション技術についての講義及びワークショップ	講義 (がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む)	0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	小林奈津子 (東北大学病院)	14:00-14:45
			ア) グループ討論による患者への悪い知らせの伝え方 イ) ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習 (がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む)	1単位 (90分)	1単位 (90分)	小林奈津子、山下元康、川井由美子 (東北大学病院)、伊藤文晃 (東北大学病院)、進藤百合子、今野文博、綱木美由紀、住谷美枝、児山香	14:50-16:20
		2日目のまとめ・連絡			2日目 計4単位	児山 香	16:20-16:25